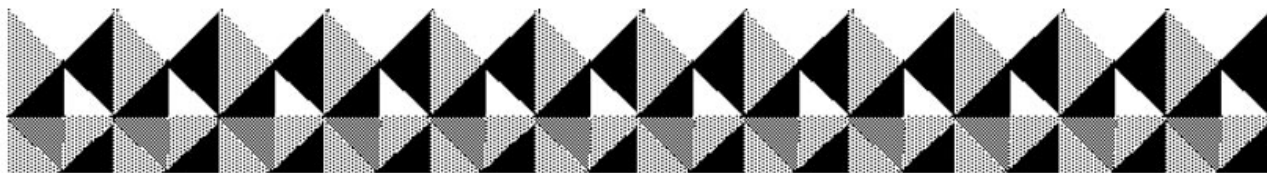


〔特集〕



注目研究 in CFD25

Selected Researches in CFD25

特集の企画にあたって

* 東京大学 生産技術研究所 小野 謙 二†

** 名古屋工業大学 大学院工学研究科 森 西 洋 平††

第25回数値流体力学シンポジウムは、大阪大学吹田キャンパスにおいて、12月19日から21日の3日間にわたり開催され、盛況裏に閉会されました。今回は25周年という節目にあたり、梶島岳夫実行委員長のもと、セッション構成を分野横断的に基礎的な知見の情報を交換する本来の趣旨に加え、オーガナイズドセッションの再編を行い、リニューアルをして頂きました。また、例年の特別講演やグラフィクスアワードに加え、日韓CFDワークショップも併催されました。

「注目研究」は2010年の日本流体力学学会年会講演会での企画を皮切りに、以降、年会講演会とCFDシンポジウムの両会議の特集記事が組まれるようになりました。この特集は、編集委員会の委員が各自の基準により興味深いと思われる論文、将来性が感じられる論文を一人あたり5編程度ピックアップし、全員の推薦数を集計して掲載するというものです。編集委員の楽しみ(?)となった感もあるこの企画ですが、今回は46編の候補の中から10編を掲載することにしました。

簡単にその顔ぶれを紹介しますと、分子論的アプローチからマルチスケールシミュレーションを志向した解析、気液固三相の熱流体モデルに基づいた厚板ステンレス鋼のレーザ切断シミュレーション、気象モデルとLESモデルのスペクトルギャップに関する論文が3件、LESの高精度化に関する検討、熱力学的な不連続面のシミュレーションで生じる速度や圧力の虚偽振動に関する検討、Google Earth APIを用いた可視化コンテンツ生成ソフトウェア開発、データ同化技術の乱流計算への適用、ミルククラウンの解析などとなります。多岐にわたるアプリケーションの幅があり、その一方で課題として残されている問題点を掘り下げチャレンジしている論文など、CFDの発展と進化を垣間見ることができ、読者の皆様にもお楽しみいただけるのではないかと思います。

最後に、本特集の主旨を理解して頂き、執筆にご協力いただいた著者の方々にお礼を申し上げます。

*〒650-0047 神戸市中央区港島南町 7-1-26

† E-mail: keno@riken.jp

**〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

†† E-mail: morinishi.yohei@nitech.ac.jp